同志社大学　政策学部　小谷ゼミ

循環型社会の構築を礎としたエコで繋がるまちづくり

環境学習教室・オレンジガーデニングプロジェクト

中心的な事業活動であるプランター花壇の設置普及では、「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで作っていこう！」という思いに共感し、９月のアルツハイマー月間に、認知症のシンボルカラーであるオレンジの花を咲かせるオレンジガーデニングプロジェクトに参加しました。
室町児童館本館・新町分室の子ども達と環境学習教室を通じて、認知症やゴミ問題について一緒に学び、誰もが安心して暮らせるまちづくりについて考え、またマリーゴールドの花を植えました。
花壇づくりに加え、子ども達には高齢者の方々に向けたメッセージカードの記入をお手伝いしてもらいました。子ども達からの温かいメッセージを写真のようにアレンジし、プランター花壇とともに、小川特別養護老人ホームへ届け、施設内で飾っていただいています。

プランター花壇での生ごみ堆肥の利用促進

上京区内の喫茶店等のコーヒーかす回収とたい肥化活動をされている豆えこさんにご協力いただき、区内の生ごみから作られたたい肥を用いたプランター花壇の設置を通じて、区内の安定した資源循環の基盤形成促進に貢献しました。また、試験的に上賀茂神社より頂いた落ち葉たい肥の導入を行い、今後の活動への手がかりを得ました。

敬老会の開催

敬老の日に合わせて子ども達と一緒にお手紙とあづま袋（簡単に作れるエコバック）を用意し、一部ですが、各小学校区域の高齢者の方々にプレゼントしました。コロナ禍で制限されがちな多世代交流の創出と、あづま袋により環境問題に関心が高まることを目的としました。

↑あづま袋と手紙をセットにしたプレゼント

上京区役所でのアルツハイマー月間展示

オレンジガーデニングプロジェクトや認知症に関するパネル展示とプランター花壇を設置しました。また、メッセージボードを用意し、区民の方からまちに対する思いを伝え合う場を作りました。「上京区の好きなところは」「将来どんなまちになってほしいですか」「上京区にあったらいいものは」という質問について、「人の温かさ」という上京区の良さや「多世代交流が盛んなまち」「多様性に富む心豊かなまち」などのまちに期待するメッセージが寄せられました。

←メッセージボード